

# 令和8年 **2**月暮らしのお手入れ



## 「LED化」に注意点も

### 蛍光灯の製造終了に備える

- \* 蛍光灯にはわずかですが水銀が含まれます。
- \* 蛍光灯の製造や輸出入は段階的に禁止され、2027年末で全面禁止となります。
- \* 2028年以降も在庫品は販売されますが、国内メーカーでは生産終了の製品も。
- \* LEDは省エネ性能の高さが特長。
- \* 天井に貼り付けるように設置するシーリングライトで消費電力を比較すると、蛍光灯の68ワットに対してLEDは34ワットと半分で済み、年間の電気料金も半額に。
- \* シーリングライト1台あたり年間約2000円の節約が可能。
- \* 蛍光灯は約6000時間の使用で交換が必要ですが、LEDは約4万時間もちます。
- \* 1日5～6時間使用すると蛍光灯は約3年、LEDは約20年もち計算。
- \* 照明器具がすべてLEDという家庭は全体の26%（2025年6月時点）。
- \* 電球形ランプの交換の場合は、口金が同じサイズのLEDランプを購入。
- \* ぶら下げ式のペンダントライトなどは、照明器具ごと交換するのが簡単で安全。
- \* ランプだけの交換は、蛍光灯器具の点灯方式に合ったLEDランプを選ばないと事故のリスクがあります。
- \* 蛍光灯器具が老朽化している可能性が高い場合もあります。
- \* 設置から10年が適正交換時期、15年で発火などの危険を伴うことがあります。
- \* ダウンライトなど天井に直接ねじ止めされている照明器具は、電気工事が必要。
- \* 平均的な費用は、1台につき製品代が2000円で作業料が3000円ほど。
- \* 出張料が1回500円ほど。

（2026年1月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



## テーブルの上をスッキリ保つ

### 別の置場に移すルールを

☆テーブルの上のスッキリを保つポイント

- テーブルに置いてよい物を限定するルールを設ける
  - \* 家庭事情に合わせて柔軟に運用する
- 「使い終わったら戻す場所」をテーブルの近くに設ける
  - \* 既存の家具の配置も見直す
- 「一時置き」の期限を決める
  - \* 忘れがちなら週に1回、テーブル上を撮影して確認する



(2026年1月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 2月の住まいのお手入れ

### わが家の定期診断チェックポイント 床下



- 目的
  - \* 住宅の構造の足まわりの健全性の確認。
  - \* 床下の設備配管に異常がないかの確認。
- 方法
  - \* 1年に1度、床下点検口（床下収納）から覗き、目視できる範囲を懐中電灯で照らしたり、写真を撮ったりしてチェック。
  - \* 床下に異臭（カビ臭、汚水臭など）がしないかチェック。
  - \* 5年に1度は実際に床下に入りチェック。
- ポイント
  - \* 基礎コンクリートにヒビが入っていないか、土台はカビが発生していないか、腐朽していないか確認。
  - \* 基礎パッキン工法の場合は、土台がやせて基礎パッキンが動かないかの確認。
  - \* 床断熱材が脱落している箇所がないか確認。
  - \* 床下から異臭がする場合は重大な不具合が想定されるので、建築士か工務店に相談。

(参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」)